



# 明倫

舞鶴市立明倫小学校

平成30年10月 日



## 「力足らざる者は中道にてはいす。今なんじは限れり」

暑かった夏は一気に終わりをづけ、朝夕の涼しさに秋の到来を感じるころとなりました。子どもたちは運動会に向け毎日練習しています。

全国藩校サミットで6年生は論語の素読を行いました。その中に「力足らざる者は中道にてはいす。今なんじは限れり。」という言葉があります。それは「勉強やスポーツなど、何かをしているときに、途中で『もうできない』と思ってしまうこともあるが、最後までがんばってみないと結果はわからない。初めから無理だと思って努力しないと、そこまですべて終わってしまう。」ということを行っています。

5年生の野外活動では薪で火を燃やしてご飯を炊きカレーを作りました。おいしく食べた後は、すすで汚れた鍋をきれいに磨かなければなりません。真っ黒な鍋を磨くことはとてもたいへんな作業でしたが、子どもたちは最後まできちんとやり切りました。きれいになった鍋を見て満足感を味わっていたようです。

運動会でも、一人一人この言葉を頭に置きながら取り組んでほしいと思っています。運動が得意な子ども、ダンスが得意な子ども、反対に苦手な子どももいます。苦手なこといやなことは避けたいというのが心情でしょう。しかし不得意なこと苦手なことにも一生懸命前向きに取り組む姿は輝いて見えます。運動会では子どもたちの輝いた姿をたくさん見ていただきたいと思います。



校長 池田 弘一

## 記憶にとどめる

最近、覚えることがなかなかできなくなったので、メモをとらなければならないのですがそれさえしなくなりました。今は、メモしなければならない内容をスマホで写真にとり保存するという、少し前までは考えられない方法で保存しています。たいへん便利ではありますが、このようなことをしているので記憶力は衰えるばかりです。

運動会で活躍する子どもの姿を動画に収めることも今は普通になりました。しかし、撮影していると自分の子どもしか見ることができず、全体の子どもの動きや隊形移動、全体の中で子どもがどのように動いているかはわかりにくいものです。自分の目で見て、記憶にとどめることも大切にしてください。一生懸命取り組む子どもの姿はいつまでも記憶にとどまるはずです。

運動会の画像をSNSにアップされる方がありますが、肖像権の関係もあり配慮が必要です。ご協力よろしくお願いします。